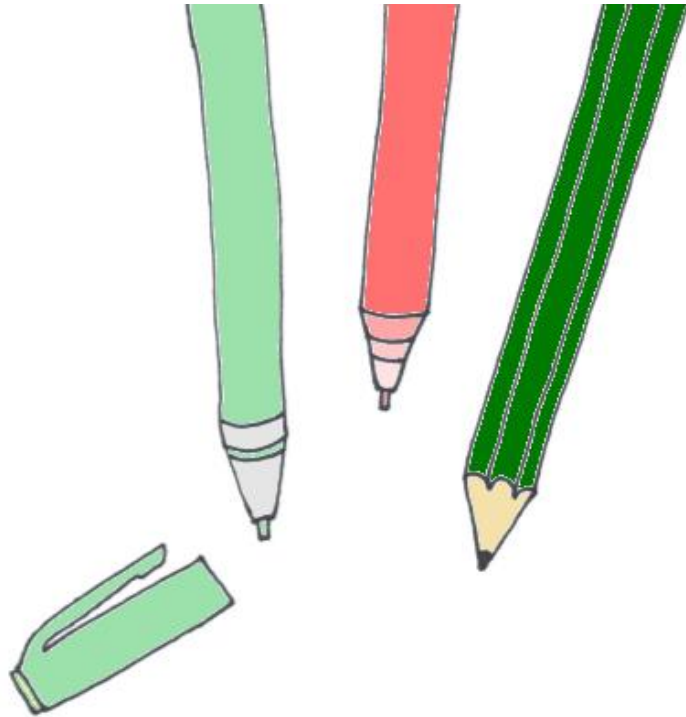


**The Advanced Guide  
to**

# **English Writing**

英語ライティングの応用編！

ミツイ直子



The Advanced Guide to English Writing: 英語ライティングの応用編

All rights reserved

Copyright © 2015 by Naoko Mitsui



**NOTICE: You DO NOT Have the Right to Reprint or Resell This eBook!**

**You also MAY NOT give away, sell or share the content herein.**

All rights reserved. No part of this report may be reproduced or transmitted in any form whatsoever, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, or by any informational storage or retrieval system without the expressed written, dated and signed permission from the author.

著者の許可なしに複製、転写をすることを固く禁じます。

## Acknowledgement

I would like to express my gratitude toward...

My Parents

who respected my decisions to pursue my educational goals and career,  
and have supported me throughout, in many ways

Ms. Mary Hall

who showed me the beautiful path to the world of Language as my very first mentor

Ms. Jessica Sakuma

who shared her Friday Afternoons with me during our college years,  
helping me revise my papers  
and being the best companion to discuss and discover how interesting our languages are

Mr. Nobuyuki Kinugawa

who, as my mentor, helped me to bridge the gap between my knowledge  
and the real challenges that Japanese EFL teachers and learners are facing today

and

My Loving Husband and Two Beautiful Boys

who always provide me with support, trust, love and laughter

## Introduction

こんにちは！ ミツイ直子です。☺

この度は「The Advanced Guide to English Writing : 英語ライティングの応用編！」をご購入いただき誠にありがとうございます。

本書では「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」で学んで頂いた英語ライティングの基礎をもとに、様々な種類のライティングを書く時に知っておくべきポイントを紹介しています。ここで紹介している全て種類のライティングが皆さんに必要となるわけではないかもしれませんが、本書でご紹介しているポイントは、結局「全ての種類のライティングに当てはまる」と言っても過言ではありません。特に賢い英語ネイティブにとってはどれも「常識」。世界で通用する英語力を、そして英語ライティング力を手に入れるために、本書で紹介している情報を役立てていただけましたら嬉しい限りです。

尚、本書で紹介するポイントは全て「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」で紹介しているポイントを知っていることが前提となっています。まだ「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」をご覧になっていない方は、そちらから学んでいただくことをお勧めします。

では、Happy Learning!!

ミツイ 直子

## Contents

<b>Acknowledgement</b>	<b>3</b>
<b>Introduction</b>	<b>4</b>
<b>Contents</b>	<b>5</b>
<b>Chapter 1: Term Paper</b>	<b>7</b>
<b>Lesson 1: 課題と先生をよく知る</b>	<b>8</b>
<b>Lesson 2: 基本から絶対に外れない</b>	<b>16</b>
<b>Lesson 3: 評価ポイントを知る</b>	<b>21</b>
<b>Lesson 4: 議論の強化方法</b>	<b>30</b>
<b>Lesson 5: Term Papers の種類</b>	<b>38</b>
<b>Chapter 2: Research Paper</b>	<b>49</b>
<b>Lesson 1: Research の Source 厳選方法</b>	<b>50</b>
<b>Lesson 2: Source の使い方を知る</b>	<b>59</b>
<b>Lesson 3: Source の出典元、正しい記載方法</b>	<b>70</b>
<b>Lesson 4: Research Paper の種類</b>	<b>76</b>
<b>Chapter 3: Essay Exam</b>	<b>83</b>
<b>Lesson 1: Essay Exam の特性を知る</b>	<b>84</b>
<b>Lesson 2: Exam 中の Time Management を極める</b>	<b>91</b>

<b>Lesson 3: Exam 前と Exam 中にすべきこと</b>	<b>95</b>
<b>Chapter 4: Business Writing</b>	<b>102</b>
<b>Lesson 1: Business Writing の 3 つの特徴を知る</b>	<b>103</b>
<b>Lesson 2: 良いニュースと悪いニュースの伝え方</b>	<b>115</b>
<b>Lesson 3: Tone に敏感になる</b>	<b>122</b>
<b>Answer Keys</b>	<b>134</b>
<b>To English Learners</b>	<b>144</b>
<b>To English Educators</b>	<b>146</b>
<b>おまけセクション: Examples of English Writing</b>	<b>149</b>
<b>おまけ Contents</b>	<b>151</b>
<b>Part 1: ちょっとしたライティング</b>	<b>152</b>
<b>Part 2: 相手に伝える</b>	<b>171</b>
<b>Part 3: 自己表現のライティング</b>	<b>237</b>
<b>Part 4: かしこまったライティング</b>	<b>257</b>
<b>Part 5: スピーキングにつながるライティング</b>	<b>286</b>
<b>About the Author</b>	<b>307</b>

## Chapter 1: Term Paper

Term Paper は学校で課されるライティングのことです。アメリカの高校、大学、大学院で課されるライティングは基本的にこう呼ばれます。

(高校レベルのライティングは Essay と呼ばれ、大学、大学院レベルのライティングの場合は Academic Paper と呼ばれることもあります。)

Term Paper の中にはリサーチを必要とする Research Paper もありますが、それは Chapter 2 で見ていきます。まずはここで「自分の意見を述べる」という基本的なライティングについて詳しく学んでいきましょう。

### Chapter Contents :

- Lesson 1 : 課題と先生をよく知る
- Lesson 2 : 基本から絶対に外れない
- Lesson 3 : 評価ポイントを知る
- Lesson 4 : 議論の強化方法
- Lesson 5 : Term Papers の種類

## Lesson 1 : 課題と先生をよく知る

学校の課題として課される Term Paper で特に大事なものは、



課題の内容をきちんと把握し、  
先生の求めていることを理解する。

と、ということです。

これは「The Complete Guide to English Writing: 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 3 の Lesson 2 と Lesson 3 でみた **Audience と Purpose** の確認となります。

先生が、課題を出すことで生徒のあなたに「学んで欲しい」と思っていることは何でしょうか？





Chapter 1, Lesson 1

先生の指示や課題の内容をしっかりと理解するところから始めましょう。

曖昧なまま始めてしまうと、せっかくライティングを途中まで書いても最初からやり直しになってしまうこともあります。

また、学校の課題を採点するのはもちろん先生。

ライティングには算数のように決まりきった「正解」や「間違い」がないだけに、先生の個人的な好みも添削に大きく影響してくることがあります。

ですので、




先生のライティングに関する好みを  
知っておくことも大事。

特に、既に提出したライティングが添削されて戻ってきている場合、先生からのコメントなどはきちんと読み「次回の課題の際に、どうすれば同じ間違いをしなくて済むか」を確認するようにしましょう。

もし先生の書いたコメントで分からないことがあれば、必ず先生本人に確認するようにしてください。

ただ、気をつけなければいけないのが



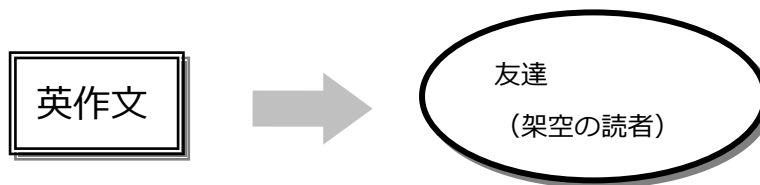
学校の課題として  
提出するライティングの Audience は  
先生だけではない。

と、ということです。

確かに「実際の読者」は先生のみの方が多いたのですが、ライティング課題が課される場合は「架空の読者」を想定しないといけないことが多いのです。

例えば、課題の指示が「友達への手紙を書きなさい」というように「誰々に宛てた文章」という指示がはっきりと提示されている場合は、もちろんその宛先の人間が「架空の読者」となります。

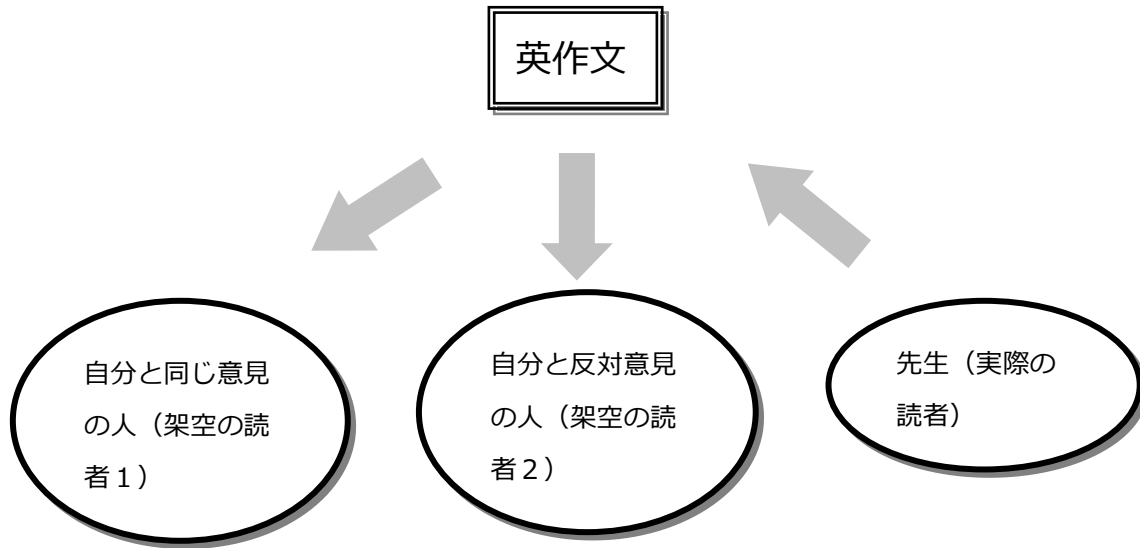
表面上は友達宛に書く手紙。



でも実際にライティングを読むのは友達ではなく先生。



また、例えばライティングの目的が「To persuade」だった場合は、自分の意見を述べ、読者を説得させなければなりません。その場合は架空の読者が増えます。



何人かの人是最初からあなたと同じ意見を持っているかもしれませんが、当然、反対意見を持っている人もいます。そういう人達をも説得させられるような強い議論を展開していくのが「To persuade」のゴール。

ですので「自分と同じ意見を持った人は、何により良く共感してくれるのか」「自分と反対意見を持った人は、どういう反論をしてくる可能性があるのか」と考えながらライティングを書いていく必要があります。

この様々な架空の読者を考えずに、先生だけが読者だと思ってライティングを書いてしまうと「課題の趣旨を理解していない」と思われ、良い評価をもらえないことがあります。

よって「先生が、このライティングは誰を読者として想定しているのか」と考えるだけでなく、「誰々を読者としてライティングを書くのだから、こういう単語や言い回しを使おう」「こういう説明を加えよう」ということまで配慮する必要があります。



ライティング全体を、その特定の読者用に  
カスタマイズすること。

この点は非常に大事です。

「誰々を読者と想定したので、こういう配慮を含めたライティングにしました」と説明ができるくらいシッカリと考えておきましょう。

また、似たような点で気をつけるべきことは



ライティングの課題が出た授業の  
レベルや内容を考慮する。

と、ということです。

例えば、大学3年生レベルの授業を受けているときは、そのレベルのライティングを書く必要があります。もちろん良いライティングを書けるにこしたことはないのですが、「実際の学年よりも下の学年レベルの授業を受けているから、完成させるライティングの質を下げても良い」ということにはなりません。

自分に要求されているレベルが把握できない人は、どの程度のライティングを書くべきか先生やクラスメイトに相談してみると良いでしょう。

また、ライティングをカスタマイズしていく時に気をつけたいのが Jargon (専門用語) の使用です。

どんな分野のライティングでも、教科書や授業中に紹介された「その分野特有の単語や言い回し」を使うことが大事です。



Jargon を使う際は、それを一般知識として扱って良いのか、それともきちんと定義を書いたほうが良いのか…。課された課題内容で判断するようにしましょう。「読者」である先生が Jargon を知っていても、「架空の読者」や「課題内容（きちんと授業で学んだ内容が理解出来ているのか、をチェックされている場合など）」によっては、きちんと Jargon の定義まで紹介する必要があります。

また、分野によって以下のようなポイントも変わってきます。確認しておきましょう。

\* どんな証拠や具体例を好むのか。

(多数の証拠や例が必要なのか、少数でも信憑性の高い証拠が必要なのか、研究結果のように科学的根拠に基づいた証拠が良いのか、実例の方が良いのか、など)

\* その分野での「常識」は何か。

\* グラフなど視覚情報は必要なのか、好まれるのか。

## Lesson 1 練習問題

1) 以下の文章は学校の課題の指示です。この指示から想定される読者、ライティングの目的、ライティングを書いていくうえで気をつけることを考え、書き出しなさい

Read the article. Then, write one of these two short compositions.

1. Describe the different kinds of headaches.
2. Discuss ways to treat and cure headaches.

Possible Audience: \_\_\_\_\_

Possible Purpose: \_\_\_\_\_

気をつけること: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2) 以下のライティングは提出後に添削をされたものです。次回のライティング課題提出の際に気をつけなければならないことを書きなさい。

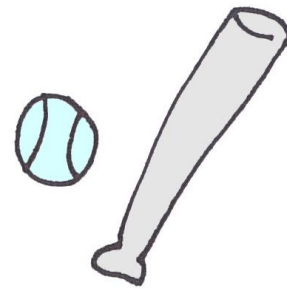
Why I'm in here, in the America although I was born in Japan? I think this reasons are important for me not to lost myself. When I was a high school student, I decided to come to America. So, I'm in the America now. There are 3 reason why I'm in America, to study English, to realize the my future goal, to grow up by myself.

*Always check your grammar!*

次回気をつけること: \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

3) 以下の文章にはいくつかの Jargon が使用されています。一般向け読者に対し、追加説明が必要だと思う単語に丸をつけなさい。

Lou Gehrig was one of the most famous baseball players. He played 17 consecutive seasons in Major League Baseball and was called "Iron Horse." But the talented player experienced rapidly progressive weakness, muscle atrophy, muscle spasticity, dysphasia, dysarthria, and dyspnea. Gehrig was finally diagnosed as Amyotrophic Lateral Sclerosis, which is later called "Lou Gehrig's disease" in the United States.




答えは 134 ページで確認出来ます。

## Lesson 2 : 基本から絶対に外れない


Term Paper で大事なものは、ライティングの基本から外れないことです。

つまり、



よっぽどの自信がない限り  
「Main Point は3つ」  
という5段落の形式から外れないこと。

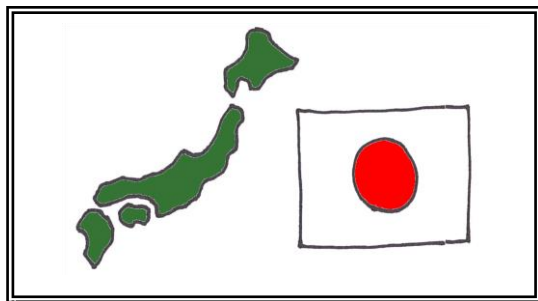
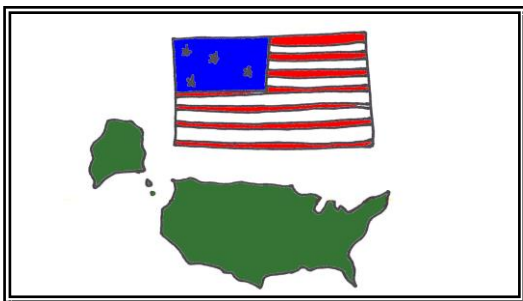
そして、



1番言いたいことは1つに絞る。  
Thesis Statement が含むアイディアは1つのみ。

このように、Term Paper ではライティングでは当たり前のことが非常に重視されます。

例えば「愛国心」という題でライティングを書く」という課題が出たとします。この時、あなたは2つのアイディアがあるとします。





この2つのポイントについて書きたい場合、あなたならどうしますか？

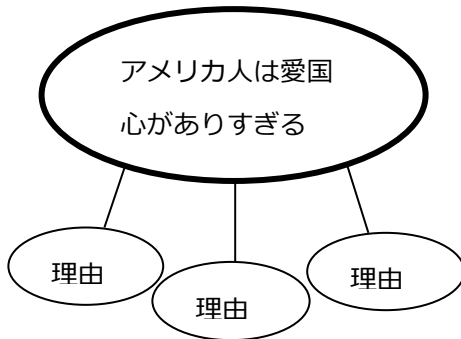
- \* アメリカ人は愛国心がありすぎる。
- \* 日本人は愛国心がなさすぎる。

一見「愛国心」というキーワードでつながっているように見えますが、この2つのアイディアは全く別のもので、「アメリカ人は～だけど、日本人は～だ」という Thesis Statement にしてしまうと、その Thesis Statement は2つのアイディアを含むことになってしまいます。

ですから、ここですべきことは「どちらか1つのアイディアだけを使う」か「新しいアイディアで2つのアイディアをつなげる」か考えることです。

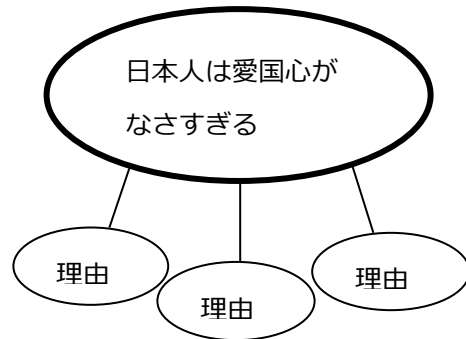
最初の方法（一者選択）を行うとすると…

ライティング1



Thesis Statement

ライティング2



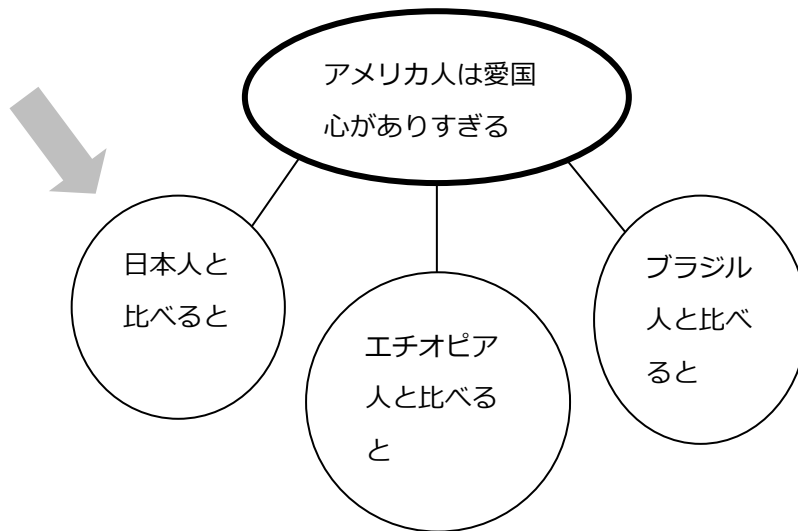
このように、Thesis Statement のアイディアが1つのみのライティングとなります。  
(理由1・2・3が Main Points となります。)

ライティング 1 を選んだ場合は「日本人は愛国心がなさすぎる」というアイデアを含むことはできませんし、ライティング 2 を選んだ場合は「アメリカ人は愛国心がありすぎる」というアイデアを含むことはできません。

でも同じアイデアを言い方を変えて Main Point とすることは可能です。

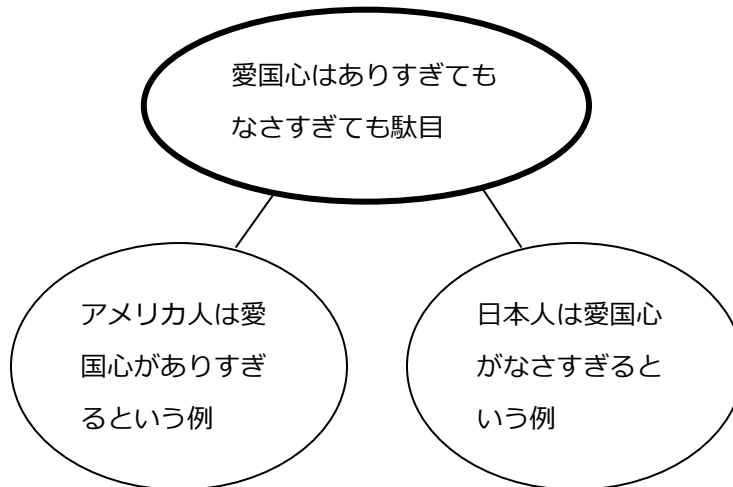
例えば、1つの Main Point を「他国民であるアメリカ人/日本人と比べた場合」として、どの程度アメリカ人/日本人は愛国心がありすぎるのか、またはなさすぎるのかを説明することができます。ただ、その際には、その Main Point がきちんと Thesis Statement をサポートしているかの確認を忘れずに行いましょう。

例) ライティング 1



もう1つの方法（新しいアイデア作成）をした場合…

### ライティング3



適切な Thesis Statement を作り、もとの2つのアイデアを Main Point とすることが  
できます。

この場合、Main Point が2つになり（イントロとコンクルを入れて）総段落数も4つに  
なりますが、問題はありません。Main Point の2つがシッカリとしていて、それをサポ  
ートするだけの十分な小さいポイントがあれば、Main Point 数や総段落数にそれほどこ  
だわらなくても大丈夫です。

基本的に5段落のライティングにすることが大事ですが、それだけに捉われず創造性のある  
ライティングにしていくことも同時に心がけましょう。Main Point のバランスを崩し  
たり余計な情報を入れたりしてまで、ライティングを5段落にする必要はありません。

この点は「Complete Guide to Basic English Writing: 総合的な英語力アップへの近  
道！」の Chapter 3 の Lesson 3、コラム欄と共通する部分があります。こちらの方も併  
せて確認してください。

**Lesson 2 練習問題**

1) 以下の2つのアイデアをつなげる Thesis Statement を考えなさい。

\* 学校の制服廃止

\* 授業中の飲食許可

Possible Thesis Statement: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2) 以下の2つのアイデアをつなげる Thesis Statement を考えなさい。また、それにふさわしい3つの Main Points を考えなさい。

\* 日本の文化

\* 京都

Possible Thesis Statement: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Possible Main Points: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

答えは 135 ページで確認出来ます。

### Lesson 3 : 評価ポイントを知る

さて、Term Paper はどういうポイントを元に評価されるのでしょうか？

もちろん担当の先生によって評価をする際に重点を置いている箇所は異なりますが、一般的に評価されるポイントで、注意することがいくつかあります。

- 1) Organization
- 2) Voice
- 3) Sentence Fluency
- 4) Ideas and Contents
- 5) Word Choice
- 6) Conventions

#### 1) Organization

- \* ライティングの構成がハッキリしていて論理的かどうか。
- \* 「次はどんなポイントが書かれているのか」が、明確に伝わる構成になっているかどうか。



#### 確認ポイント

- \* 印象的な Introduction、Conclusion となっているか？
- \* 全てのポイントがあるべき場所に紹介されているか？
- \* 小さいポイントと大きいポイントの関連性が明らかか？

Chapter 1, Lesson 3



Pre-Write でのアイデアのまとめ方がポイントになってきますね。「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 3 を確認しましょう！

2) Voice

\* 自分の意見や思いが、適切な構文や単語で書かれているか。また、読んだ時にそれが読者に伝わるかどうか。



確認ポイント

- \* 適切な構文や単語を使って、以下のことを可能としているか？
  - > 読者に自信と信頼性が伝わるか？
  - > 読者に直接語りかけているような力強さがあるか？



ここでは Revise の作業を丁寧にすることが大事ですね。「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 5 を確認しましょう！

### 3) Sentence Fluency

\* 様々な種類の文章が、自然に正しく使われているかどうか。



#### 確認ポイント

- \* 文章間にギャップがないようになっているか？
- \* 長文と短文を適度に混ぜ合わせて使っているか？
- \* 文章の始まり方にバリエーションはあるか？
- \* 文章中に余計な情報はなく、スッキリとしているか？



ここでも Review が大事ですね。「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 5 を確認しましょう！

### 4) Ideas and Contents

- \* 伝えたいことがハッキリと、詳しく書かれているかどうか。
- \* 読者が、「ライティングを最後まで読みたい！」と思える内容になっているかどうか。



### 確認ポイント

- \* 興味深く、参考になる内容となっているか？
- \* 作者は題に関してきちんとした知識を持っているか？
- \* 題は広すぎることなく、ライティング内できちんと説明しきれているか？
- \* 「このライティングのポイントは？」という質問に、明確に答えられるか？



Pre-Write の出来具合で左右されそうなポイントですね。「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 2 と Chapter 3 を確認しましょう！

## 5) Word Choice

- \* 的確で明白、そして心に情景を描きやすい単語を使っているかどうか。
- \* 的確な場所での確かな単語を使っているかどうか。



### 確認ポイント

- \* ライティングを引き立てるような単語が使われているか？
- \* 曖昧な単語や表現は省いているか？
- \* いくつかの単語やフレーズは印象的になっているか？
- \* 単語やフレーズを正しい意味で使っているか？





Review のステージでチェックしておくべきことばかりですね。「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 5 を確認しましょう！

## 6) Conventions

\* スペルミスや文法間違いがないかどうか。



### 確認ポイント

- \* 大文字と小文字の使い分けが正しくされているか？
- \* 的確な句読点が正しい用法で使われているか？



Proof-Read で確認すべきことです。「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 6 を確認しましょう！

自分で Revising や Proof-Reading をするときには、ただ単に読むのではなく、これら上記のポイントに注意しながら読み進めていくのがお薦めです。

Chapter 1, Lesson 3

先生から「この課題では内容だけが添削の対象となります」などという指定がない限り、ライティングはこれら6点の全てがチェックされ、総合点がつけられるのが基本です。もちろん、ライティングの課題が出されたときにその点を先生と確認することも大事ですので、詳しく知りたい人は先生と採点基準について話をしてください。

### Lesson 3 練習問題

1) 以下の文章を読み、各ポイントに対して1～5（1が最低点で5が最高点）の点数を付けなさい。

It is very interesting to know oneself and then you can realize many things. I could see myself what do I want to be, what am I interested in when I knew myself or I asked me question by myself. I want to have own travel agency in the future and be tour conductor because I like travel and planning for travel and I also can stand up whenever I'm hard, sad, have a problem and in difficult situation. Therefore the tour conductor suits me exactly.

I travel at least 1 time a month so I really love traveling and also travel makes me happy. In fact when I was nervous, I always traveled with my mother to make a refresh. Travel gives me relax so it is good influence for me to survive. If there are people who like travel and want to travel, I want to help them to make more wonderful trip for them because it is my happiness too. I'll give happiness many people and I want to share the happiness through the travel. Travel is good tool to carry the happiness I think so I really like it.

I like that making travel plan. I am always imageneted about my travel by plan so it is very interesting. In fact I always made plan my family's travel and I was conductor and also I made plan my friend's travel even if I didn't go with them. I was really happy when I made good travel plan and someone was had a good trip by my plan. Thus tour conductor is good work for me.

---

Chapter 1, Lesson 3

Therefore when I knew about myself, I realized what tour conductor suit me. This work can use my character perfectly, and I certain that the tour conductor is the best work for me and I will be able to succeed on this job in the future.

Organization

点数： \_\_\_\_\_

理由： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Voice

点数： \_\_\_\_\_

理由： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Sentence Fluency

点数： \_\_\_\_\_

理由： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Ideas and Contents

点数： \_\_\_\_\_

理由： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Chapter 1, Lesson 3

Word Choice

点数： \_\_\_\_\_

理由： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Conventions

点数： \_\_\_\_\_

理由： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

自分の書いたライティングを  
誰かに見せたり先生に提出し  
たりする前には、必ずこれら  
のポイントをチェックするよ  
うにしましょう。



答えは 136 ページ～、確認出来ます。

## Lesson 4 : 議論の強化方法

どんな課題が出されたとしても、Term Paper では「自分の意見を主張する」ことが必須です。そして「その主張を正当化するための議論を展開していくこと」も重要です。

では、どうしたら議論を上手に展開していくことが出来るのでしょうか？

「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 3, Lesson 2 でもお伝えしましたが、各段落のポイント（メインポイント）の詳細となる文章に適しているのは以下のような文章でした。

- 1) Example
- 2) Definition
- 3) Explanation
- 4) Description

でも！これらを使って満足をするのではなく…、特に「to persuade」が目的のライティングを書く際、更に良い議論を展開していくために Modes of Persuasion を意識して書いていくのがお薦めです。

Modes of Persuasion はレトリック（修辞法）の一つで、読者への3種類のアピール方法のことを指します。3種類のアピール方法とは Ethos、Pathos、Logos のことです。

## 1) Ethos

\* 書き手の権威や信頼性を示すポイントのことです。

> つまり、Ethos が確立されていないと読者は “Why do I have to read your essay?” と思ってしまう可能性があるのです。



### こういうことを書きましょう！

\* 自分の専門性を証明する資格や学歴、職歴。

\* 自分の（信頼性のある）人間性アピール。

\* 自分の知識が豊富であるということのアピール。



さり気なく自分の役職や専門性を記述することも可能ですが、様々な種類の文献を紹介するのも「自分の知識が豊富であること」のアピールとなります。間違っても「偏ったタイプの文献のみを紹介する」ということはないように！それでは Ethos は確立できません！

例) As an Educational Advocate, I am qualified to tell you the course materials prepared by Lang Leaves Education are exactly what your children need to learn.

例) Based on my research throughout the field, I came to the conclusion that this type of treatment is very expensive yet ineffective.

## 2) Pathos

\* 読者の感情に訴えかけるポイントのことです。

> 読者の感情を揺さぶることで、作者の伝えたいことを「他人事」と捉えられるのを避けます。



### こういうことを書きましょう！

\* 誰にでもイメージしやすいような具体例。

\* 喜怒哀楽の感情を引き起こすような具体例。

\* 隠喩の使用（「○○のようだ」というように、ある特徴を他のもので表現すること）。



「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 1, Lesson 2 でも学びましたが、英語では特に論理性を大事にします。ですから、どちらかという「感情論」的な意味合いの強い Pathos だけでは良い議論は成り立ちません。英語ライティングにおいて論理性は絶対に必要なのです。

でも！米国独立宣言やキング牧師のスピーチ、それからオバマ大統領の就任演説にも含まれているように、Pathos は良い議論を行なう際には無視できない要素です。

例) If we don't do anything, nothing will change. Act now!

例) "If there's a child on the south side of Chicago who can't read, that matters to me even if it's not my child. If there's a senior citizen somewhere who can't pay for their prescription and having to choose between medicine and the rent, that makes my life poorer, even if it's not my grandparent. If there's an Arab-American family being rounded up without benefit of an attorney or due process, that threatens my civil liberties." by Barack Obama at the Democratic National Convention in Boston, 2004.



### 3) Logos

\* 論理性を持つポイントのことです。

> 論理性を大事にすることで、誰が読んでも納得せざるを得ない議論の進め方を目標とします。



#### こういうことを書きましょう !

\* 「私の主張」に至るまでの思考プロセスを紹介。

\* 原因と結果 (Cause and Effect) を紹介。



論理性を持つということは、それぞれの主張に必ず理由があるということ。その理由を、読者に分かりやすい方法と順番で示していく必要があります。日本人である私達は「なんとなく」で話を進めてしまいがちなので十分気をつけましょう。

Logos を上手く使えると、Ethos を高めることにもつながりますし、Pathos も生きてきます。

例) The research result clearly suggests that real-estate is not the only safe investment available to most people.

例) We have the fingerprints, the lack of an alibi and a distressed relationship between the suspect and the victim, which has been proven by testimony from numerous witnesses. Therefore, we conclude Mr. Evans killed the victim.

Modes of Persuasion はライティングだけでなく、スピーチやプレゼンテーションにも使われます。英語を学んでいる以上は意識しておきたいポイントです。

ライティングを読んでいるとき、スピーチやプレゼンテーションを聞いているときには Modes of Persuasion の Ethos、Pathos、Logos にアンテナを張るようにしてください。そしてそれぞれがどんな効果を生み出しているのか、一読者として考察をしてください。



## Lesson 4 練習問題

1) 以下の文章を読み、Ethos、Pathos、Logosを見つけ、それぞれに丸をつけなさい。

Hello, I'm Severn Suzuki speaking for ECO, the Environmental Children's Organization. We are a group of twelve and thirteen year olds, trying to make a difference — Vanessa Sutti, Morgan Geisler, Michelle Quigg and me. We've raised all the money to come here ourselves, to come 5000 miles to tell you adults that you must change your ways.

Coming up here today, I have no hidden agenda. I am fighting for my future. Losing my future is not like losing an election or a few points on the stock market.

I'm here to speak for all generations to come. I'm here to speak on behalf of the starving children around the world whose cries go unheard. I'm here to speak for the countless animals dying across this planet because they have nowhere left to go.

I am afraid to go out in the sun now because of the holes in our ozone. I am afraid to breathe the air because I don't know what chemicals are in it. I used to go fishing in Vancouver, my home, with my dad until just a few years ago we found a fish full of cancers. And now, we hear of animals and plants going extinct – every day, vanishing forever.

In my life, I have dreamt of seeing the great herds of wild animals, jungles and rainforests full of birds and butterflies but now I wonder if they will even exist for my children to see. Did you have to worry of these things when you were my age? All this is happening before our eyes and yet we act as if we have all the time we want and all the solutions. I'm only a child and I don't have all the solutions but I want you to realize that neither do you. You don't know how to fix the holes in our ozone layer. You don't know how to bring the salmon back up in a dead stream. You don't know how to bring back an animal now extinct and you can't bring back the forest that once grew where there is now a desert. If you don't know how to fix it, please stop breaking it!

Chapter 1, Lesson 4

Here you may be delegates of your governments, business people, organizers, reporters or politicians but really you are mothers and fathers, sisters and brothers, aunts and uncles, and all of you are someone's child. I'm only a child yet I know we are all part of a family – five billion strong – in fact thirty million species strong, and borders and governments will never change that. I'm only a child yet I know we are all in this together and should act as one single world towards one single goal.

In my anger, I am not blind, and in my fear, I am not afraid of telling the world how I feel.

In my country, we make so much waste. We buy and throw away, buy and throw away, buy and throw away and yet northern countries will not share with the needy even when we have more than enough. We are afraid to share. We are afraid to let go of some of our wealth. In Canada, we live the privilege life with plenty of food, water and shelter. We have watches, bicycles, computers and television sets, the list could go on for two days.

Two days ago, here in Brazil, we were shocked when we spent time with some children living on the streets. This is what one child told us: "I wish I was rich. And if I were, I would give all the street children food, clothes, medicines, shelter and love and affection." If a child on the street who has nothing is willing to share, why are we who have everything still so greedy?

I can't stop thinking that these are children my own age; that it makes a tremendous difference where you were born; that I could be one of those children living in the cabals of Rio; I could be a child starving in Somalia; or a victim of war in the middle east; or a beggar in India.

I am only a child yet I know if all the money spent on war was spent on finding environmental answers, ending poverty and finding treaties what a wonderful place this Earth would be.

At school, even in kindergarten, you teach us how to behave in the world. You teach us to not fight with others; to work things out; to respect others; to clean up our mess; not to hurt other creatures; to share, not be greedy. Then, why do you go out and do the things you tell us not to do?

Chapter 1, Lesson 4

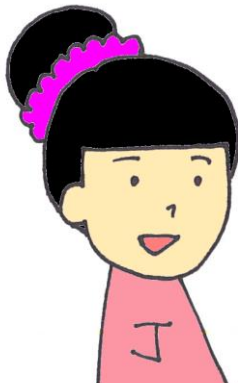
Do not forget why you are attending these conferences, who you are doing this for. We are your own children. You are deciding what kind of a world we are growing up in. Parents should be able to comfort their children by saying, "Everything is going to be alright. It's not the end of the world, and we're doing the best we can." But I don't think you can say that to us anymore. Are we even on your list of priorities?

My dad always says, "you are what you do, not what you say." Well, what you do makes me cry at night. You grown-ups say you love us but I challenge you, please, make your actions reflect your words.

Thank you.

("The girl who silenced the world for 5 minutes" 原文。

この文章は <https://www.youtube.com/watch?v=TQmz6Rbpnu0> より書き起こしたものです。(句読点の場所や文の区切りなど、本来意図されたものと異なる表記である可能性があります。)



これは 1962 年にブラジルで開かれた国連の環境問題の学会で、一人の少女がおこなったスピーチの原文です。

スピーチ内には全ての「Mode of Persuasion」が使われていますが、各国の代表者や環境問題の専門家たちに埋もれないで上手く議論を展開させるために、彼女は上手に「ある一つの Mode of Persuasion」を多く利用しています。彼女ならではの立場だからこそ生きるもの。それはどれでしょうか？考えてみてくださいね。

答えは 136 ページ～、確認出来ます。

## Lesson 5 : Term Papers の種類

Term Paper として出される課題は、大きく以下のように分けられます。

- 1) Analysis Essay (Literary Analysis も含む)
- 2) Argumentative Essay
- 3) Persuasive Essay
  
- 4) Cause and Effect Essay
- 5) Comparison and Contrast Essay
- 6) Definition Essay
- 7) Narrative and Descriptive Essay
- 8) Division and Classification Essay

(1) ~ (3) は何枚にも渡る長いライティング課題として課されることが多いですが、(4) ~ (8) は数文程度の短いライティング課題として課されることが多いです。もちろん(4) ~ (8) でも何枚にも渡るライティングとして課されることもありますので、ここで大体の「それぞれのタイプの特徴」と「こういった課題が出た時に求められているポイント」を確認しておきましょう。

### 1) Analysis Essay

\* 特定の題材について分析をします。

\* 多くの場合「特定の題材についての詳細+その分析」という構成になります。

例) 題材 : スマートフォン

詳細 : ワンタッチでインターネットにアクセス出来る

Chapter 1, Lesson 5

分析1 : オフィス業務でなく、外回りの営業が多いようなビジネスマンに便利 (例は?)

分析2 : 過度の使用による弊害もある (例は?)

\* 読書感想文 (Literary Analysis) も Analysis Essay に含まれます。

お薦めの手順

- 1) 著者の目的を考える。テーマは? メインポイントは? 著者は、読者が読み終えた後に何を学んで欲しいと思っていたか?
- 2) その目的をどう達成しようとしているのか? キャラクター構成は? 物語の舞台は? ストーリー設定は? 使用言語のトーンは? 使用単語のリズムは?
- 3) なぜ著者は (2) で考えついた方法を使っているのか? (2) の方法で本当に (1) の目的達成がされているのか? 何が上手く機能しているのか? 逆に上手く機能していないことはあるのか?

例) 題材 : シンデレラ

物語 : 意地悪な継母と義姉に虐められながらも一生懸命仕事をこなすシンデレラ。妖精のおばあさんの力を借りて舞踏会へ行き、王子様のハートを射止める。

分析 : 虐められても一生懸命仕事に励んでいたなら幸せが訪れる。忍耐の大切さを説いている。一生懸命仕事に励んでいないキャラクターとして、継母と義姉が用意されている。

## 2) Argumentative Essay

\* Persuasive Essay と似ていますが、Argumentative Essay の方が強い主張を示します。そのため、Persuasive Essay よりも詳細が必要になったり現実性のあ

る提案が求められたりします。(先生によっては Persuasive Essay と Argumentative Essay を同一のものと判断する人もいますが、ここでは一応それぞれのタイプに適したポイントを載せておきます。)

\* 特定の題材について、論理的に議論をするための「良い証拠」を集める必要があります。

**お薦めの手順**

- 1) 題材が議論を行なえるものかどうか確認する。
  - \* 「事実」に関しては議論をすることは出来ません!
  - \* 自分の主張に反対する人はいると思うか? 簡単に Yes/No で答えられず、判断するには詳細を必要とするか? 道徳的、文化的、宗教的に正しい!と思われているのではなく、学術的証拠を必要とする議論か? 全てが Yes で答えられたら OK!
- 2) 題材に関する、自分の主張したいことを選ぶ! (どんな主張にも同意も反対意見も出てくるでしょうが…選びましょう!)
- 3) ライティングを書いていく際には、以下の点に気をつける。

こうしたらグッド!	こうしちゃダメ!
同じ意見の専門家を紹介しましょう。(効果的に引用文を入れるのがお薦め。引用文に関しては Chapter 2 をご覧ください)	"I believe"、"I feel" や "I think" と書くと主張の弱いライティングになってしまいます。自信を持って「断言する勢い」で書きましょう。
自分のサイドと議論を正当化するために研究結果や統計などの「科学的証拠」をライティングに使いましょう。	「科学的証拠」なしに「宗教的な証拠」や「道徳的だと思われること」ばかりを主張しても議論は強くなりません。
誰にでも理解出来るよう、論理的な文章にしましょう。	読者全員が理解してくれると思って話を進めてはいけません。



Chapter 1, Lesson 5

反対意見を持つ人がいることを認識し、そのうえでいかに自分の主張が正しく、反対意見が正しくないかを <u>公平に比較し、議論を展開</u> させていきましょう。“The best defense is a good offense.”です。	反対意見を持つ人に対し、個人的な理由で攻撃をおこなったり、悪口を書いたりするのはやめましょう。
---	---

「こういう反対意見を言う人がいるかもしれない」と想定できるものに対して、前もって対処しておく、自分の議論や主張が強化されます。更に反対意見を紹介することで、自分の公平さをアピールできるばかりか、自分と同じ意見の読者に対しても「自分への信頼」を増すことができます。



反対意見を考える時に考慮すること！

- \* どんな人が反対意見を持つのか？
- \* なぜ反対意見を持つのか？
- \* 反対意見を持つ人にとって重要なことは何か？
- \* 反対意見を持つ人が知るべき情報は何か？
- \* 反対意見を持つ人が知らないと思われる情報は何か？

### 3) Persuasive Essay

- \* 読者を説得させるための的確な理由や証拠が必要となります。
- \* (2) Argumentative Essay とほとんど同じです。

#### お薦めの手順

- 1) リサーチをする際、以下のことを考える。
  - \* 読者を説得するのに必要となるのはどんな情報か？
  - \* どんな事実、統計、証拠が読者に好まれると思うか？
  - \* ライティング内で引用出来る専門家はいるか？
- 2) Thesis Statement は「題材の詳細」「書き手の立場や主張」「なぜその立場なのか、なぜその主張をしているのか」の3つを含んでいくことが必要です。
- 3) リサーチした情報を使って議論を展開させていく。
  - \* 単にリサーチしたことを報告するだけではありません！きちんと「相手を説得する」という目的達成を目指して！
  - \* Research Paper に関しては本書 Chapter 2 をご覧ください。

### 4) Cause and Effect Essay

- \* 「〇〇によって××が起こる」という因果関係を説明するライティングです。
- \* 授業内で学んだ内容を正しく理解しているか、の確認のために行なわれることが多いタイプのライティングです。

例) 現代社会の授業で「不況と貧困」に関して書く。

お薦めの手順

- 1) 題材の因果関係を正しく理解する。  
例) 不況→失業者の増加→貧困者が増える
- 2) 題材の中でも重要な点について、How と Why を追求する。  
例) 不況になると「なぜ」失業者が増加するのか? 「どのように」増加するのか?
- 3) 簡潔なライティングにするなら、題材の中でも何について書きたいのかを絞り込んでいく。  
例) 不況によって貧困層に入ってしまう「大家族」について書こう。  
例) 不況が貧困層に与える心理的影響について書こう。

\* Cause and Effect については「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道!」の Chapter 5、Lesson 1 でも簡単に説明しています。そちらも併せてご覧ください。



5) Comparison and Contrast Essay

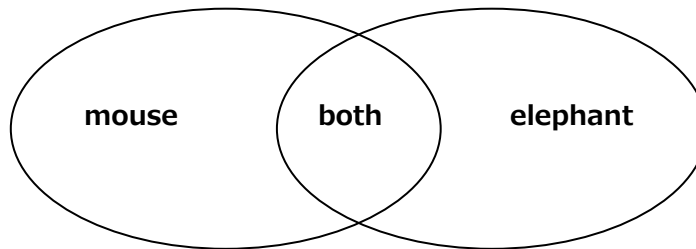
\* 2つの物を新しい視点で(分かりきったことでないポイント)比較する必要があります。

お薦めのポイント

\* 2つの物の類似点や相違点（単なる類似点や相違点ではなく、ライティングに書く価値のある点）を見つけましょう。

例) ねずみより象のほうが大きいということは誰でも知っている事実なので、題材としては適しません。「書く意味のあるもの」「読む意味のあるもの」について書きましょう。

\* 下のような図を使って考えるのもお薦めです。



\* 先生や課題によっては、類似点又は相違点のみを書けと指示することもあります。両方を書けと指示することもありますので、求められていることをきちんと確認するようにしましょう。

\* Comparison and Contrast Essay は2つの構成で書いていくことができます。

1) メインポイント

- A. Lightning McQueen is distinct because...
- B. Lightning McQueen and Sally are similar in these ways...
- C. Sally is distinct because...

2) メインポイント

- A. Differences and Similarities in Lightning McQueen and Sally's appearances
- B. Differences and Similarities in Lightning McQueen and

### Sally's characteristics

### C. Differences and Similarities in Lightning McQueen and Sally's backgrounds

## 6. Definition Essay

\* Definition Essay では、特定の単語の定義について書きます。その単語は自分で選ぶこともあれば先生が選ぶこともあります。よくあるのは後者。授業内で学んだ専門用語をきちんと理解しているかの確認として、このタイプの Essay を書く課題が出されます。

#### お薦めのポイント

\* 自分で単語を選んで Definition Essay を書く場合は、ある程度の長さのライティングを書ける内容を含んでいそうな単語を選びましょう。抽象的な単語のほうが、人によって捉え方が微妙に違うのでお薦めです。

#### チェックポイント

複雑な意味を持っている単語かどうか？人によって捉え方が違う単語かどうか？単語の起源についても話せそうかどうか？  
こういったポイントをチェックして決めるのもお薦めです。

\* 先生が特定の単語を選んだ場合も、上のチェックポイントの項目を確認しながら Essay を書いていくようにしてください。

"family" か…。これは人によって捉え方が違う。血の繋がりのある家族と血の繋がりのない家族。それから…。



## 7. Narrative and Descriptive Essay

\* Narrative and Descriptive Essay の題材は様々ですが、「体験を通して学んだこと」を書くことが多いです。

### お薦めのポイント

\* 大事なのは「五感（見る、聞く、触る、嗅ぐ、味わう）あふれる語感」を使うことです。読者がライティングを読んで、まさに同じことを体験しているかのように錯覚出来るほどのリアリティ感を与えるのが目標です。

> Ask yourself... What do you smell? What do you taste? What do you see? What do you hear? What do you touch? How do you feel?

\* 形容詞 (adjective) や副詞 (adverb) を上手く利用して、読者が鮮明なイメージを描けるようなライティングを書きのもポイントです。

「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」の Chapter 5, Lesson 3 をご覧ください。

\* 前置詞を上手く使って空間と物の関係を表現するのもお薦めです。

例) Is the box on the counter top? Below the counter top? Or, besides the counter top?

\* 読者がライティングの内容をイメージしやすいように、具体的な詳細を紹介していくのもお薦めです。

例) 抽象的な文 : Miss Leslie is a nice teacher.

具体的な文 : Miss Leslie is very knowledgeable and flexible so that she can adjust her teaching strategies to each student's learning strategy.



## 8. Division and Classification Essay

\* Division and Classification Essay では、題材をカテゴリー分けして（各段落に1つの詳細、という構成が典型的です）書いていきます。

例) drivetrain structures on hybrid cars

- 1) parallel hybrid
- 2) series hybrid
- 3) power-split

\* 時々、Division Essay と Classification Essay に分けられることがありますが「Division Essay は、1つの題材を細かいポイントに分けて説明していく」という意識でおこなわれ、「Classification Essay は題材をカテゴリーにあてはめて説明していく」という意識でおこなわれます。その結果、両方とも題材をカテゴリー分けして書いていくことになるので、双方の違いはあまりありません。

(Division Essay は「あまり一般に知られていない題材を詳しく書くものだ」と主張する人もいますが、特に決まりはありません。)

さて、それぞれのタイプのライティングがどういうものか、何を書くように求められているのか大体分かりましたか？

いくつかのタイプのライティングの特徴がオーバーラップしているように、これらは、「このライティングは絶対このタイプ！」と言い切れるような白黒ハッキリしたものではありません。そしてそれぞれの違いを細かく説明出来るように100%理解する必要もありません。

大事なのは「ライティングの課題を行なう際に、何を書くように求められているのか判断が出来るようにしておく」ということ。ここではそれぞれの特徴に捉われすぎず、「こういうライティングもあるんだな」と思う程度の理解に留めておいてください。

### コラム 先生と密なコミュニケーションを図ることが大事 !

本章では何度か「先生に聞く」「先生と話す」ことを提案しました。

こういった「どうすればより良いライティングが書けるのか」「先生の求めていることを確認する」という行為は、決してネガティブなことではありません。むしろ、生徒が自主的にそして積極的に行うべきことです。

アメリカの教育現場では、先生に相談をしたり必要なサポートを得ようとすることは「より良く課題を仕上げようとしている姿勢」としてポジティブにみなされます。「楽しんで良い点数を取りたい」という気持ちがあればすぐに先生に伝わってしまいますが、純粋に「良いライティングを書き上げたい」と思い努力を重ね、その為に必要なアドバイスを乞うことはとても評価されます。

万が一、先生の方で「これ以上のサポート提供は他の生徒に対してフェアでなくなってしまうから、自分があなたに出来ることは他にはない」と判断した場合は、そう伝えてくれるはずですが。私も大学時代、米英文学の講義を受けていた時にある先生にそう言われました。しかし「ライティングのサポートを受けられるサービスは大学で提供されているのか」「アメリカのライティング添削の家庭教師のシステムはどうなのか」という質問をしたところ、その先生は喜んで色々な情報を教えてくれました。

頑張った分だけ報われるアメリカの高等教育。

でも、その頑張りをアピールしていくのも生徒の仕事なのです。



## To English Learners

### 英語を学習中の皆さんへ…。

本書では、大きく分けて4種類のライティングを紹介しました。

「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」と併せて読んだとき、ライティングの基礎、それから本書で紹介した4種類のライティング全てに共通するポイントはありましたか？それはどんなポイントですか？

皆さんが気付いた共通ポイントは「ライティングのコア」の部分であり、それは必ず押さえておかないといけません。まずはそのコアをきちんと理解してから、それぞれの種類のライティングの特徴を押さえていくようにしましょう。

そして、本書を参考にしながら実際にライティングをおこなうようにしてください。ほとんどのレッスン後には、レッスン内容の理解を確認するために練習問題を設けています。解答や説明も付いていますので、ご自身で取り組んでください。そして1つ1つに向き合いながら4種類のライティングのポイントのコア部分を把握するようにしましょう。

実際にライティングを書く経験を重ね、1つ1つの単語や文章と向き合う経験を持たないと、明日も明後日もあなたのライティング力は変わりません。「知っている」だけでは意味がないのです。自分でライティング練習をしっかりとこなしていく自信のない方は、是非ライティング基礎講座をご利用ください。ライティングの基礎を1つ1つ学んで頂けます。詳しくはこちらをご覧ください。<https://naokomitsui.com/>  
また、ミツイのブログにもライティングのポイントについての記事がありますので、こちらも併せてご確認ください。<http://ameblo.jp/tamura-mitsui>

To English Learners

ライティングでは、チャットなどの特別な場合を除き、読者とのリアルタイムのやりとりはありません。だからこそ読者が分かりやすいようなライティングを、時間をかけて丁寧に仕上げていくことが必要で、その間にも1つ1つの単語や文章と向き合って修正を繰り返す粘り強さが必要です。「ライティングは単なる文字の羅列ではない」そのことが本書を通じて皆さんにご理解いただけましたら、この上ない幸せです。

では、これからも楽しい英語学習を続けてくださいね。

Happy Learning!

ミツイ 直子

## To English Educators

### 英語を教えている皆さんへ…。

もともと本書の内容は、前作「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」でご紹介した内容の「第2章」として書いたものです。そして、ある言語学習専門の大手出版社にボツにされた内容です。ボツにされた理由は「日本人にはレベルが高すぎるから必要ない」というものでした。

当然、出版社側の事情を考えると「売れる物」でないといけません。編集者の方には「日本ではライティングは売れない。だからせめて“TOEFLやTOEICで高得点が取れる！”と銘打たないとダメだ」と言われました。現在の日本の英語教育界を見ると、それは的確な認識と判断だと思えます。多くの人が、ライティングよりもスピーキングやリスニングに飛びつき、将来を見据えた総合的な英語学習よりも英語試験の点数アップのための英語学習に飛びつく国ですから。

でも、だからと言って、ライティングの重要性を知る私達、英語講師が「マーケティング目的のためだけに、売上目的のためだけに」英語学習者が本来知るべき内容を疎かに扱っても良いのでしょうか？市場に出すのを躊躇すべきなののでしょうか？確かに本書の内容をもとにライティング練習を重ねれば、TOEFLやTOEICのライティングパートでの点数アップは確実に図れます。でも「それだけのためのライティング学習」と銘打ってしまうのは、生徒の視野を狭めるのではないのでしょうか？

本書には難しいことはひとつも書いてありません。英語教育の現場にいらっしゃる皆さんの力添えさえあれば、まだまだResearch PaperやBusiness Writingに馴染みのない中高生の学生たちでさえも、重要なポイントを理解していくことは可能です。そう、ライティングの基本的な部分というのは早ければ未就学児でも使っています。例えば、大好きなお

ばあちゃんに手紙を書く時に、何を、どんな順序でどんな絵と共に書いたら良いのか、これらは日常的に行っていることです。それを英語で書く場合でも、何一つ大事なことは変わりません。

皆さんのちょっとした工夫さえあれば、生徒たちの年齢や現在の英語力に関わらず、生徒たちのライティング力は格段に伸びます。ライティング力が伸びれば、リーディング力やスピーキング力、そしてリスニング力でも、助長されて一緒に伸びていきます。そして何より、ライティングを教えることによって生徒たちの考える力、アイデアを出す力、アイデアをまとめる力、論理的に自分の意見を説明していく力を伸ばすことができ、自分の意見を伝える勇気とその機会、そして相手のことを思いやって意志疎通を図る機会を与えることができるのです。

「日本人の英語力を考慮すると、この内容は難しい」

「この内容は必要ない」

そうやって切り捨てるのではなく、どうしたら本書で紹介したポイントを生徒たちの英語学習に役立てることができるのか…。それらを考えて教えてください。

皆さんのお力を、どうぞお貸してください。そして、本書を「本当に感謝される英語教育」に役立てていただければ幸いです。

Lang Leaves Educationのコースは英語講師の方にも受講していただけます。既に何人もの講師の方に受講していただき、「新しいことをたくさん学べた」とのお声をいただいています。新しい分野への挑戦は素晴らしいことですし講師である私達が常に学び続けるからこそ、生徒たちに与えられる勇気や励ましがあると思います。良かったら一度ウェブサイト (<https://naokomitsui.com/>) とブログ (<http://ameblo.jp/tamura-mitsui/>) をご覧ください。

To English Educators

では、これからも楽しい英語教育を続けていきましょう。

Happy Teaching!

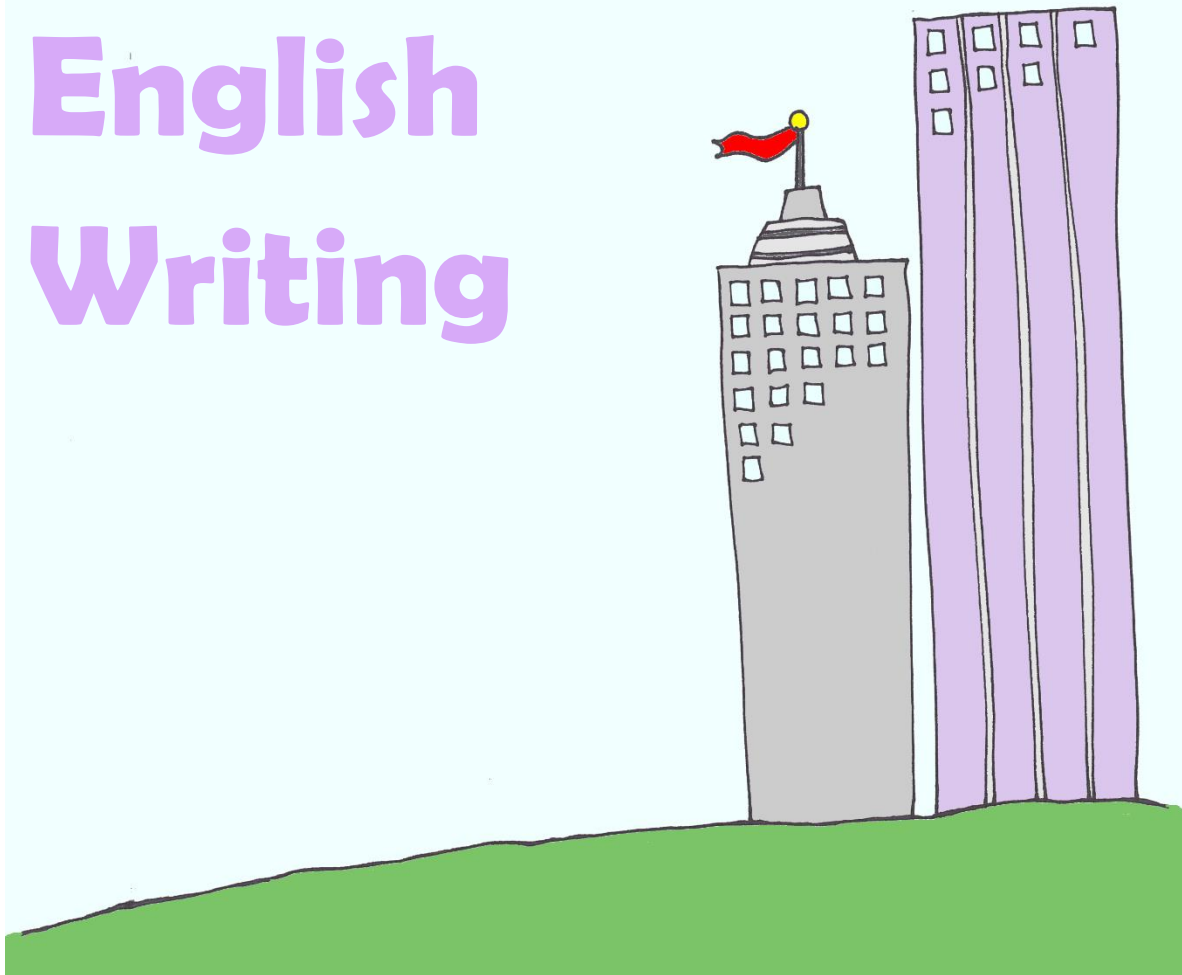
ミツイ 直子

## おまけセクション

“The Complete Guide to English Writing”と  
“The Advanced Guide to English Writing” 補助教材、  
英語ライティングの例文集！

The Examples of

English  
Writing



おまけセクション

ライティングで大事な5つのステップ、Pre-Write、Draft、Revise、Edit、Publish。本書で紹介したような「キッチリとしたライティング」以外にも、私達は無意識のうちに、このステップを踏んで（日本語でも英語でも）ライティングを行なっています。

この「おまけセクション」ではそんな例を見ていきます。皆さんも普段の生活で（日本語でも英語でも）何かを書くときには「5つのステップのうち、今自分はどの段階の作業をしているのかな？」と、意識するようにしてください。「今、自分は Revise をしているな」というように気付くことができるようになったら、それはライティングの5つのステップが身近に感じられるようになっているということ。そうなれば、本格的なライティングでさえ、良い意味で「大したものではない」と思えるようになるでしょう。ライティングスキル向上のためにも、こうして「ライティングの壁」を取っ払うことが大事です。

この「おまけセクション」では、様々な英語ライティングの「5つのステップで完成させていく過程」を紹介しています。それぞれをフォーマリティーのレベルで分けています。Part 1 は、簡単にササッと書く「ちょっとしたライティング」。Part 2 は、読者にきちんと内容を理解してもらいたい「相手に届けるライティング」。Part 3 は、読者の有無に関わらず、自分らしさを出す「自己表現のライティング」。Part 4 は、読者に評価される、高度な「かしまったライティング」。そして、Part 5 では、ライティングの5つのステップの「スピーキング時の役立て方」を紹介しています。

どんな感じでライティングを進めていくことが出来るのか、この「おまけセクション」で再確認してください。

では、Happy Learning!!

## おまけ Contents

<b>Part 1: ちょっとしたライティング</b>	<b>152</b>
1 : List	153
2 : Memo	159
3 : Text Message	165
<b>Part 2: 相手に伝えるライティング</b>	<b>171</b>
1 : Email	172
2 : Letter	204
3 : Holiday Card	217
4 : Invitation	226
<b>Part 3: 自己表現のライティング</b>	<b>237</b>
1 : Diary	238
2 : Blog	245
<b>Part 4: かじこまったライティング</b>	<b>257</b>
1 : Essay	258
2 : Letter of Intent	271
3 : Status Report	282
<b>Part 5: スピーキングにつながるライティング</b>	<b>286</b>
1 : Telephone Call	287
2 : Speech	298



## About the Author

2001年に単身渡米。

The University of Montanaにて英語学専攻（言語学専門）、コミュニケーションスタディーズ副専攻。全世界認定の英語講師資格を取得。言語と文化の関係性の深さを感じ、その後はより良い英語教育を追求する為、California State University, Long Beachに進学、修士号を取得。専門分野は社会言語学と人類言語学。

大学時代から様々な場面で英語教育に携わる。主な仕事は長期・短期留学プログラムマネージャー、英語講師、英語教材研究・開発ディレクター、英語教材翻訳ディレクター他。また米国大学留学予定者に、米国大学で必要とされる知識・勉強法を教えてきた。英語教育以外にもフリーランス翻訳者（英訳専門、ジャンル問わず）としての経験も持つ。

現在はカリフォルニア州にて二人の息子の子育ての傍ら、スカイプを使用し日本・アメリカ各地の英語学習者をサポートしている。

提案している英語指導においては、言葉の性質をよく理解し、今までの英語教育界で（全く！）重要視されていなかった社会言語学や人類言語学的観点を取り入れ、言語使用の際に関わってくる文化や社会的背景の繊細な情報をも織り込んだ「より豊かな英語学習」を提供することを目標としている。また認知言語学をベースにすることで、これまでの英語教育によって英語苦手意識を抱えてしまった人でも楽しく英語ネイティブの感覚で英語を学んでいくことを可能としている。2014年には「The Complete Guide to English Writing : 総合的な英語力アップへの近道！」をウェブ出版。

Website: <https://naokomitsui.com/>

Blog: <http://ameblo.jp/tamura-mitsui/>